



JR東海労を除名！新労組結成？ JR総連組合員から組織破壊のシナリオが明らかに！！

11月14日、JR東海労から脱退するとして、森下暢紀、薮秀一、田村浩彰が脱退を表明しました。それ以降、脱退の意思を伝えてきている組合員がいます。

この脱退はJR総連がつくり出しています。JR総連によるJR東海労への組織破壊攻撃のシナリオが明らかになりました。JR総連の組合員から情報提供がありました。それによると、「JR総連は12月12日、臨時大会を開催するが、JR東海労の除名の決定と同時に、JR東海に新たに結成された労働組合の加入を認める臨時大会でもある」というものです。

またJR総連は、新労組を立ち上げるためにそのシンボルとして森下を担ぎ上げ、JR東海労組合員に「森下を支える」「総連と共に」を語り脱退届と、そして新労組への加入届を書かせているという情報も届いています。当然新労組の委員長は森下であり、新労組の結成は11月29日と言われていました。その先頭で蠢いているのが、14日に脱退を表明した3人なのです。

森下委員長の元に結成される新たな労働組合には、脱退者全員が入るとはなっていないようですが、脱退者の大半が加入し結成されるようです。しかしその労働組合はわずか2年で崩壊する労働組合です。労働組合の目的は、賃金アップや労働条件の改善のために会社と闘うことです。「JR東海労には将来展望がない」と言って脱退しておいて、わずか2年で崩壊する労働組合に加入する、その目的はJR東海労を破壊するためだけです。

脱退を考えている組合員に訴えます。JR東海労を結成して33年間、会社権力と闘ってきたその情熱はどこにいったのですか。仲間と手を携えて励まし頑張ってきた思いはどこにいったのですか。33年間の自らの闘いの歴史を否定し、簡単に捨ててはいけません。「森下を支える」という言葉にだまされてはいけません。

JR東海労組合員として闘いの戦列に復帰されることを強く訴えます。同時に脱退者に対しては断固糾弾する闘いを進めていくことを明らかにします。